

# 羽ばたけ!羽島っ子 11月号

いちき串木野市立羽島小学校  
公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>

## 気づく力

校長 西村 喜一

「ある病院に一人の男性が運ばれてきた。その男性を見た医師が『私の父だ』と言った。その医師は、その男性の息子ではなかった。」

この文章を読んで少しでも「どういうことだろう」と思った方は、無意識のうちに思い込みを  
してしまっているかもしれません。この無意識の思い込みのことを「アンコンシャス・バイアス」  
というそうです。これは、脳の「高速判断」「知的連想」の機能だそうです。脳は、様々なことを  
処理するために、多くのエネルギーを必要とするので、それを最小限にするために、これまでの  
経験や知識、価値観の情報から判断する機能が、このアンコンシャス・バイアスです。この機能  
は、人間が生存するために必要な機能だそうです。ただ、この機能に対して無自覚のままだと決  
めつけや判断の単純化につながり、様々な悪影響を及ぼすそうです。

例えば、地震の警報が鳴った時に「自分が被害にあうはずがない」とか、職場などであることを  
決める際に「みんなが良いって言うているから、間違いはない」とか、根拠のない思い込み  
により、逃げ遅れたり、正しい判断ができなかったりします。では、どうすればいいのでしょうか。

このアンコンシャス・バイアスは、人間には必要な機能ですので、上手に付き合うことが大切  
です。「何かを判断するとき、一度立ち止まって考え、違うと思ったら、勇気をもって表現する」  
「多くの人の意見を聞き、少数意見も参考にする」「常識だと思っていたことも、一度疑ってみる」  
「もしかしたら思い込みかもしれないと考える意識をもつ」などが、対策として考えられます。  
つまり、「気づく力」が必要だということです。

ところで、文頭の文章ですが、もうお分かりかもしれません。その医師は、男性の「娘」だっ  
たのです。「医師といえば男性」という思い込みが、判断を遅らせたり誤らせたりするのです。こ  
の文章は、以前参加した人権教育の研修会の資料にあったものです。私も初めて聞いたときには、  
「どういうことだろう」とずっと考え、結局答えを教えてくださいまで気づきませんでした。当時  
の私は、かなりアンコンシャス・バイアスに、脳が支配?されていたのかも知れません。

さて、現在、学校では「500いいね 大作戦!」を実施しています。これは、仲間の良い行  
動やがんばっている姿を見つけて、カードに書く活動です。本校では、12月5日から16日ま  
でを「人権旬間」として、人権にかかわる様々な取組を行っています。そのひとつとして、この  
「500いいね 大作戦!」を、運営委員会を中心に実施しています。一昨年は「良いこと見  
つけ」昨年は「みんなのいちばんぼし」の取組を行いました。「良いこと見  
つけ」では175の良いことを、「みんなのいちばんぼし」では479のい  
ちばんぼしを見つけました。そこで今年は、「500のいいね」を見つけよ  
うとがんばっています。右の写真は、「いいね」の一部です。

この取組の目的は、自分の「いいね」をたくさん見つけてもらうことよ  
り、仲間の「いいね」をたくさん見つけることにあります。つまり、仲間  
の行動や様子を見て、普段感じていなかったことに「気づく」ことが大切  
なのです。一緒にいる時間が長ければ長いほど、「この人はこんな人なんだ」  
と思ひ込みがちですが、いろいろな面に気づくことで、互いを尊重し合い、  
より良い関係につながるのではないかと思います。更に、仲間の「いいね」  
を見つける活動を通して、自分の「いいね」も感じてほしいと思っていま  
す。日本の子供たちは、自己肯定感が低いといわれています。がんばって  
いる自分を再確認し、次へのやる気につなげてほしいと思います。



思い込みや刷り込みから脱却するためには、普段から意識を高め、「気づく力」を養っていくこ  
とが大切です。最初は、意識するのは大変かもしれませんが、そのうちにそれが自然と身につい  
ていくものです。いろいろなことに気づくと、視野が広がり、毎日新しいことに出会い、生活や  
人生が今まで以上に潤いのあるものになるかもしれませんね。

## 地域が育む「かごしまの教育」 県民週間

11月1日～7日に行われた県民週間、及び12日の  
学習発表会には、たくさんの方々の参観をいただきま  
した。ありがとうございました。いつも子供たちを温かく  
見守り、御支援いただき感謝いたします。

学習発表会では、各学年が日  
頃学習していることをしっかりと  
発表することができました。  
当日は制限がかかった中での参  
観となりましたが、多くの方に  
子供たちの発表を見ていただく  
ことができました。どうもあ  
りがとうございました。



6年「way to go my dream」

3・4年「がんばった一輪車」



5年「道徳劇古いバケツ」



2年「楽しい2年生」



1年「くじらくも」

## 読書月間の取組

読書への関心を高めることを目的に「読書月間」を設定し、様々な  
取組を行いました。地域の方や職員による読み聞かせ、読書祭り(読  
書グループ「花さき山」)、読書郵便などに取り組み、本にたくさん親しむ1か月となりました。



リーディングパーティ



読み聞かせボランティア



読書まつり(花さき山読み聞かせ)



牧野医院より「ゴム手袋(20箱)」、  
「マスク(6箱)」をいただきました。  
新型コロナウイルス感染症防止対策  
に活用したいと思います。ありが  
うございました。



寄贈ありがとうございました



読書郵便

## 生活科フェスティバル

11月24日は生活科フェスティバル  
がありました。1・2年生が羽島保育園  
の園児を招き、自分たちで準備をしたお  
店屋さんで楽しんでもらいました。保育  
園児に遊び方を教えたり、景品をプレゼ  
ントしたりと、お兄さん、お姉さんぶり  
を発揮しながら楽しみました。



## 12月の行事

- 4日(日) PTA堆肥販売
- 6日(火) 持久走大会  
授業参観・学級PTA
- 23日(金) 終業式



※ 今年度の「餅つき」は、新型コロナウイルス感染症を考慮し、中止としました。御理解  
の程、よろしくお願いいたします。